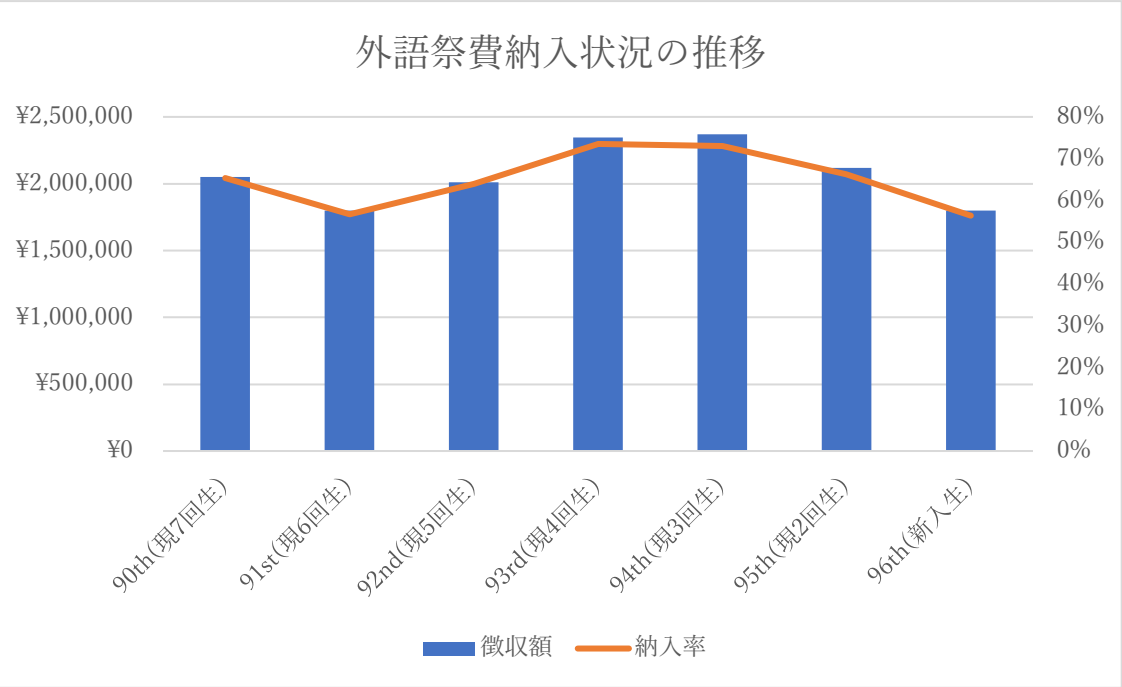
参考資料　外語祭費納入状況及び次年度繰越金の推移

≪表 1≫外語祭費納入状況の推移

年度		徴収額	納入率	入学者数	納入人数
2012	90th(現 7 回生)	¥2,052,000	65%	785	513
2013	91st(現 6 回生)	¥1,800,000	57%	794	450
2014	92nd(現 5 回生)	¥2,012,000	64%	787	503
2015	93rd(現 4 回生)	¥2,344,000	74%	797	586
2016	94th(現 3 回生)	¥2,368,000	73%	811	592
2017	95th(現 2 回生)	¥2,120,000	66%	800	530
2018	96th(新入生)	¥1,800,000	56%	795	448
	平均	¥2,116,000	65%	796	517

≪図 1≫外語祭費納入状況の推移



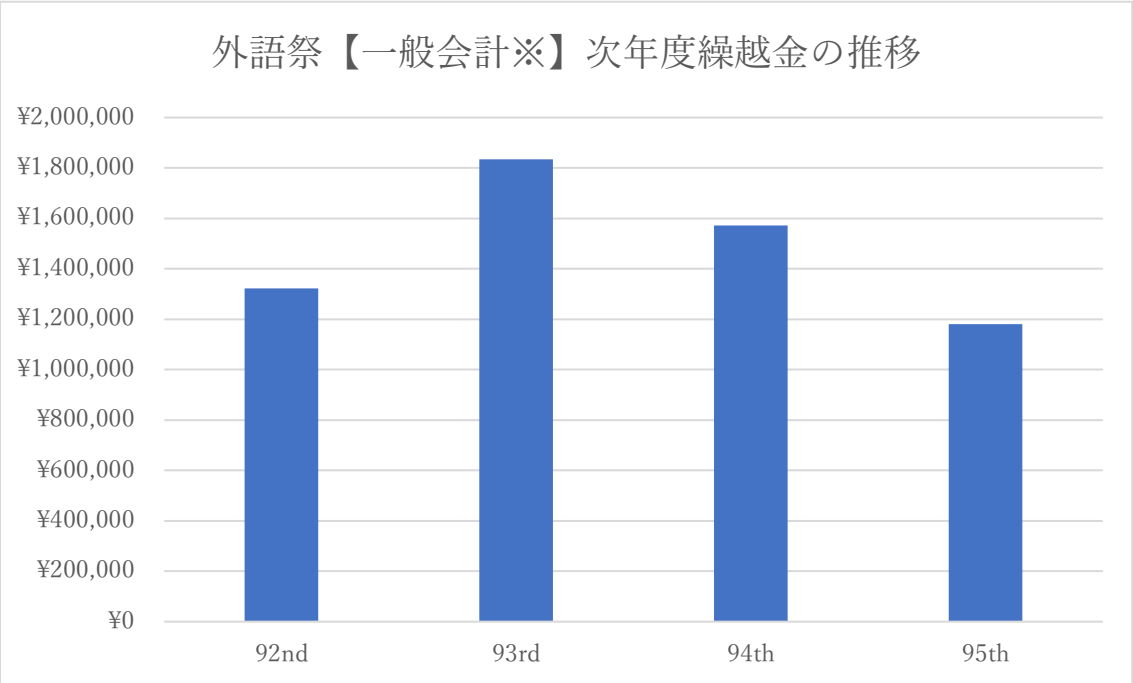
2012 年度（91st）は、今年度と同程度の水準ですが料理店を運営するために必要不可欠な「仕込み場所」が 93rd より創設されましたので、それに伴って 93rd 以降、必要な資金も年々増額しております。

そのため、今年度の納入状況では、**参加団体の皆様の負担は重く**なり、加えて、外語祭を開催するうえで必要な設備を整えることができなくなります。これらは、**参加団体の減少を招き、また、法の遵守や十分な安全の確保が難しくなることに繋がります**。結果的に、現在の**外語祭は第 100 回を目前に中止になるという可能性**を否定できません。

≪表 2≫次年度繰越金の推移

	92nd	93rd	94th	95th
収入	¥11,714,980	¥17,562,108	¥17,975,032	¥17,824,581
支出	¥10,392,950	¥15,727,944	¥16,402,267	¥16,644,301
繰越金	¥1,322,030	¥1,834,164	¥1,572,765	¥1,180,280

≪図 2≫次年度繰越金の推移



このままのペースで繰越金の減少が続くと、**第 98 回には現在の規模を維持することができなくなるもしくは開催自体が不可能になる**という計算になります。

※外語祭の予算区分（以下の **2 区分のみ**で資金運用を行います）

外語祭は、主に①毎年新入生が支払う「外語祭費」②大学からの援助金③大学後援会からの援助金を中心に運用される**「一般会計」**と、外語祭実行委員会が広報や各企業との交渉、OBOG からの協力を通して獲得する協賛金などの資金を中心に運用される**「渉外会計」**に分けて会計処理を行っています。

このうち「一般会計」部門の収入については、外語祭参加団体の皆様の運営を、より安全にそして、より効率的にするために使用します。実行委員会が企画・運営する来場者向け企画や外部に向けた広報などは「渉外会計」部門の収入により賄いますので、**「外語祭費」がそれらに使われることは絶対にありません。**